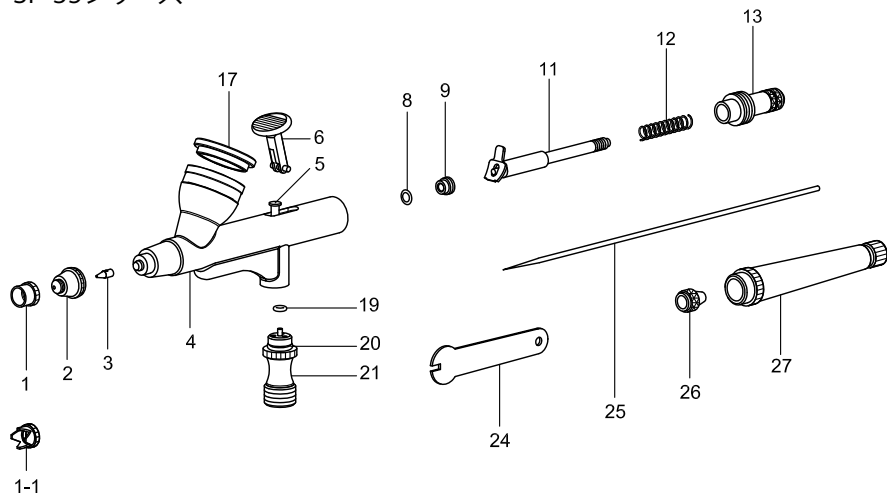


エアブラシ構成部品

・SP-35シリーズ



注意：図は参考用です。実物と異なる場合があります。補用部品の供給について詳しくはパーツサイトをご覧ください。
他のエアブラシモデルについては、特設ページ <http://flyer.sparmax-jp.com/> を参照してください。

No.	各部名称	No.	各部名称	No.	各部名称
1	ニードルキャップ	11	ニードルチャックガイド	26	ニードルチャックナット
1-1	クラウンニードルキャップ(付属)	12	バネ	27	ハンドル
2	ノズルキャップ	13	バネケース		
3	ノズル	17	2ccカップカバー		
4	本体	19	ピストンリング		
5	ピストン	20	クワキバルブリング		
6	プッシュボタン	21	クワキバルブセット(接続口ねじサイズ: G1/8オス)		
8	ニードルガイドOリング	24	レンチ		
9	ニードルガイド	25	ニードル		

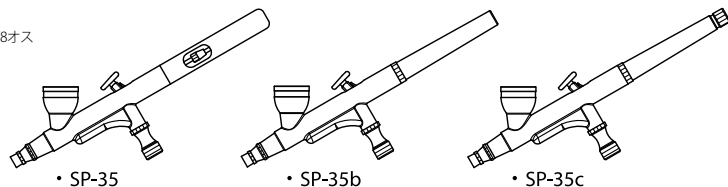
・SP-35シリーズ

ノズルサイズ: 0.35mm

塗料カップ: 2 c.c

低圧でも高性能

接続口ねじサイズ: G1/8オス



・ SP-35

・ SP-35b

・ SP-35c

取扱説明書

空気圧力

塗料の流動性は使用圧力の影響を受けますので、空気圧力を理想的な状態(最大圧力は0.3MPa未満)に調整してください。

塗料準備

塗料の粘度が牛乳同等であることを確認してください。必要により、塗料を水で薄め粘度を調整してください。色合い調整する場合は、最初は薄めに調整し、少しずつ塗料を加えてお好みの色に調整することをお奨めします。一般的な塗料、インク、水彩絵具は、直接塗料カップに入れて使用することができます。

エアブラシを操作する - 図 1

ダブルアクションモデルでは空気と塗料の供給量を独立して制御できます。これにより、さまざまな効果や仕上がりを実現できます。ダブルアクションは操作レバーで調整し、操作レバーを押し込むと空気が出て、後ろに引くと塗料が出ます。操作レバーをさらに押し込むと空気の力がより強くなり、さらに後ろへ引くと塗料の量が増えます。経験により空気の量と塗料の量をバランスよく調整することが可能となります。

きれいなラインを塗装するコツ - 図 2

対象物に塗装する際は、エアブラシは直接対象の位置からではなく、先に空気のみ吹き出しながら徐々に対象位置まで移動させ、対象位置に達したら操作レバーを引いて塗料を吹き出します。塗装を終える際は、線の末端には塗料をかけずに空気のみ1〜2秒吹き出した後、終えるようにしてください。エアブラシでスプレーを開始する際、まずフリーハンドスプレーで練習することをお奨めします。最初にエアブラシに塗料を入れて、エアブラシと塗装したい部分を7.5cmの距離を保って塗装します。エアブラシを塗装表面近くへ移動すると細く濃い線となり、逆に遠くすると幅広く薄い線となります。数回試し吹きによりコツをつかむことができます。

*エアブラシ洗浄

エアブラシを清潔に保つことは重要です。使用後すぐに洗浄を行わないと、ノズル目詰まりなどの使用上の問題が発生する可能性があります。使用を終える際に毎回または色を変更する度に、水または洗浄剤で洗浄してください。塗料は絶対にカップ内に残さないでください。

洗浄手順: - 図 3

1. ニードル固定ナットを緩め、ニードルを少し後ろに引き出します。
2. 水または洗浄剤をカップ内に数滴垂らします。
3. ニードルキャップを取り外し、内部を綿棒やクリーニングブラシを使って、水またはエアブラシ洗浄剤で洗浄します。
4. 手順5の洗浄のためニードルキャップを取り付けます。
5. ニードルキャップの上に指または布を置き、少量の空気を吹きかけ、ノズルに残っている塗料を取り除きます。
6. 塗料カップは綿棒やクリーニングブラシを使って洗浄します。
7. エアブラシ本体を水または洗浄剤で洗い流します。エアブラシ全体をシンナー等の液中に浸さないでください(Oリング・パッキン類の損傷原因となります)。

*ニードルおよびニードルキャップの洗浄

塗料は特にニードルおよびニードルキャップの内側に溜まり易いため、念入りに洗浄する必要があります。

洗浄手順: - 図 4/ - 図 5

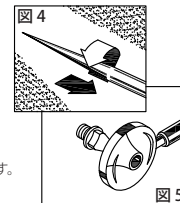
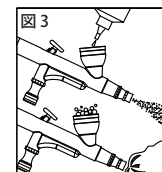
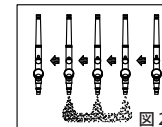
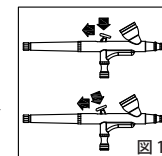
1. ニードルを取り外し、ニードル後方からニードルを回転させながら柔らかい布または吸水紙でゆっくりと引き抜くように拭き取ってください。
2. ニードルキャップを取り外し、ニードルキャップ内側を綿棒やクリーニングブラシを使用し、水または洗浄剤で洗浄します。
3. ノズルの損傷がないかを確認します。交換が必要な場合のみ取り外します。
4. ニードルキャップを元の位置に取り付けます。
5. ニードルを慎重に挿入し、ゆっくり回転させながらノズルに軽く押し付けて、適切な位置に戻します。最後にニードル固定ナットを締めます。



メンテナンス & 故障かなと思ったら

エアブラシのメンテナンス作業を行う前に、以下3つの項目に注意してください。

1. エアブラシの部品リストが手元にあることを確認してください。部品リストは新品部品を準備するのに役立ちます。
2. 明るくて平らな作業台で作業を行ってください。小さい部品の検査には拡大鏡を使用することをお奨めします。
3. 不具合箇所が不明、または修理の方法が不明の場合は、必ず販売店にご相談ください。間違った方法で修理を行った場合、より重大な問題をまわく恐れがあります。

当社製品に関してご質問などございましたら、お気軽にお問い合わせください。



この取扱説明書に示された警告事項および注意事項は必ず守ってください。 使用時に不用意に色材が噴出したり、有機溶剤の吸引により重大な身体上の障害を起こすことがあります。 △印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。	
 警告	警告内容を怠った場合、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定されることを示します。
 注意	注意内容を怠った場合、人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生する可能性が想定されることを示します。
重要	機械の性能や機能を十分に発揮してお使いいただくために守っていただきたい内容を示しています。 尚、本取扱説明書で示す安全事項は、必要最低限のものであります。 国や自治体の消防、電気、安全関連の法規、規則、またそれぞれの企業や事業所で規則、規定として守るべき事項に従ってください。

■安全にご使用いただくための警告事項

 警告	
火災と爆発	
<ol style="list-style-type: none"> 吹き付け作業場は、火気厳禁。 ・色材は引火性があり火災の危険性があります。 (ラッカー、セラックスワニスなどの有機溶剤系) ・たばこ、点火、電気機器等、引火の恐れがあるものは、必ず離れた所でご使用ください。 次のハロゲン化炭化水素系溶剤は使用しない。 化学反応により、本体（アルミニウム部分）にクラック、溶解が発生します。 不適合溶剤：塩化メチル、塩化エチル、二塩化メチレン、二塩化エチレン、四塩化炭素、トリクロルエチレン、1,1,1トリクロロエタン 等 (特殊な色材やシンナーは充分適合性を検討した上でご使用ください。適合性検討のための材質リストを提出する用意があります。) 	
機器誤用	
<ol style="list-style-type: none"> ネイルアート、ボディアート等の専用色材で吹き付けする用途以外、人体や動物に向けて絶対にスプレーしない。目や皮膚の炎症、人体への危険があります。 最高使用圧力以上のご使用は絶対に避けてください。エアブラシが、破損・破裂し非常に危険です。 洗浄、分解、保守作業をする前および作業中断時は、必ず色材と空気の圧力を逃がす。圧力が残っていると、誤作動、洗浄液の飛散により人体に危険があります。圧力を逃がす方法はエアブラシへの圧縮空気の供給を停止し、押しボタンを軽く押すことにより行います。 	
人体保護	
<ol style="list-style-type: none"> 吹き付け作業は、換気扇等を使用し換気の良いところで使用。換気が不十分ですと色材の吸い込みによる健康障害や引火の危険が増えます。 常に適切な服装または保護具を着用。(眼鏡、マスク、手袋) 目や皮膚に洗浄液等がつき炎症を起こします。目や皮膚に異常を感じたら直ちに医師の治療を受けてください。 	  
その他	
<ol style="list-style-type: none"> 製品の改造はしない。十分な性能が発揮できないばかりか故障の原因となります。 食品用や化学薬品用には使用しない。色材通路内部の腐食による事故発生や異物混入による健康障害の可能性がります。 	

保証

- 保証期間は、お買い上げの日から6ヶ月とします。
- 万一、故障の場合は、お買い上げの販売店または当社にご連絡ください。
- 無償修理は、当社にて現品の確認し、保証期間中、且つ商品の不良であれば対応いたします。
- 下記の場合は、保証期間中でも、お客様の使用回数が少なくてもお客様のご負担(有償修理、有償点検)となります。
 - 取扱説明書の注意事項を守らなかったことによる故障および損傷
 - お客様の認識不足、勘違い、取扱上の不注意や事故等による故障および損傷
 - お客様の使用環境や設置場所による故障および損傷
 - 指定外の動力源（電圧、周波数、燃料、気体など）の使用による故障および損傷
 - 天災、地変（火災、地震、水害、塩害、落雷、公害など）による故障および損傷
 - 消耗や経年劣化による故障
 - 純正部品以外の部品が使用されている場合
 - 当社指定の修理店以外による修理がされている場合
 - お客様により、商品の改造・分解がなされている場合
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is only valid in Japan.
- 商品の不具合による生産補償、営業補償等の二次的損失の補償は一切いたしません。
- 販売店が発行する証明書（販売証明書・レシートなど指定のもの）を本保証書と共に大切に保管し、修理の際は必ずご提示ください。ご提示がない場合は保証できない場合があります。

◆修理サービスについて

- 修理をご依頼される前に、必ず下記内容をご確認ください。
- 本商品は、構造上、部品単体による交換が難しい商品です。このため、修理を行う場合、アッセンブリ交換となり、高額修理になる場合があります。修理品の状況によっては、新しい商品をお買い求めいただくことをご推奨する場合がございます。業務用商品とは全く異なることをご了承願います。
- 修理をご依頼される時は下記内容をご確認ください。
- 修理はお買い上げの販売店にご相談ください。この時にお買い上げの商品の形式名およびお買い上げの時期をお知らせください。
 - 修理品をお渡しの際は、本書も合わせてご持参ください。販売店、販売時期の確認を行ないます。
 - 保証期間内でも、商品に不具合なき場合は、有償にてご対応させていただきます。
 - 保証期間を経過した修理は、機能が維持できる場合、お客様のご要望により有償修理させていただきます。
 - 詳しくはお買い上げの販売店、または当社にご相談ください。